

地方凡例録

辰

序表/49

73

6425

5



一 地方元例録卷之五目錄

一 出目系延系之事

附定大延延延延延之事

一 欠系延系之事

一 口系口系之事

附出代官端入用系金銀之事

甲列之烟口之井口之事

一 高掛物之事

附系永源金不系附之事

系之收其外小物成也

一 七百又出目之事

一 小物成浮没之事

山事貢 小物成 山没 山事貢 野事貢

野没系 野事貢 山没 山事貢 山没 山事貢

系事貢 系没 山没 山事貢 山没 山事貢

山没 山事貢 山没 山事貢 山没 山事貢

山没 山事貢 山没 山事貢 山没 山事貢

山没 山事貢 山没 山事貢 山没 山事貢

一 酒樽之事

一 溢没之事

一 分一金之事

一 籟分一金 籟分一金 市賣分一金 請山分一金

一 穿籟 穿籟 流籟 切籟 分一定法之事

一 諸運之真如浪原時物之事

一 附水事 濫歸之事

一 市場運上

一 小溪運上

一 築運上

一 池運上

一 鳥北運上

一 高網没為運上

- 一 陝炮運上
- 一 向屋運上
- 一 沖和運上
- 一 碧沖屋買加永
- 一 質屋買加永
- 一 後發屋買加
- 一 砲石山運上
- 一 金隈洞溪以山明鑿石山運上
- 一 帆和運上
- 一 川和波

- 一 小船波
- 一 室屋波
- 一 炭竈波
- 一 大工波
- 一 桶屋波
- 一 石屋波
- 一 緋屋波
- 一 派治波
- 一 新田代地金
- 一 水枝木系波還垂木之枯拂代















世編入用

全量の拾得 内拾得あり拾入用  
拾得人持得 但し全量拾得あり拾入用  
全量の拾得あり

但し方石全量の拾得あり拾入用全量の拾得あり  
全量の拾得あり拾得人持得あり

山竹官方

山竹新方石方石

山竹新方石方石

山竹新方石方石  
拾得人持得あり

大石方

山竹新方石方石

右山竹新方石方石拾入用全量の拾得あり

山竹新方石

山竹新方石方石  
拾得人持得あり

山竹新方石

山竹新方石

山竹新方石

山竹新方石

山竹新方石

山竹新方石

山竹新方石

山竹新方石

山竹新方石

右山代官編入用年令之五條十一年九月廿一日 仰出公書月  
本之色

山城 大和 按津 河内 和泉 播磨 令江 何勝  
之河 駿河 志江 信濃 相模 下細 武藏 越前  
常陸 上細 下野 上野 甲斐 美濃 安房 陸奥  
出羽 伊豆 飛騨 越後 加賀 能登 作浪

右三拾五箇河代官割之方

之五方石筋入用 令五箇河代官割之方 但之方有 令五箇河代官割之方  
備中 備後 丹波 丹波 但馬 石見 石見 石見  
隠岐 伊豫 讃岐

右拾五箇河代官割之方

之五方石筋入用 令五箇河代官割之方 但之方有 令五箇河代官割之方  
美濃 美濃 美濃 肥前 肥後 日向

右六箇河代官割之方

之五方石筋入用 令五箇河代官割之方 但之方有 令五箇河代官割之方  
右之割合之方

之五方石筋入用 令五箇河代官割之方 但之方有 令五箇河代官割之方  
之五方石筋入用 令五箇河代官割之方 但之方有 令五箇河代官割之方  
之五方石筋入用 令五箇河代官割之方 但之方有 令五箇河代官割之方  
之五方石筋入用 令五箇河代官割之方 但之方有 令五箇河代官割之方

通しつり

但し方石原とて乃方石原とハ平方石原ハ右方石原ハ別山入用  
可平事

一 嘉永二年端入用奉令二月七月十一月二二及三十四日

但し方石原とて乃方石原とハ平方石原ハ右方石原ハ別山入用

一 御代官御免入ハ相果り合ハ右入用奉令日別と相勘日合

分つり合ハ右方石原とハ平方石原とハ右方石原とハ別山入用

一 端出付官ハ 任付り合ハ先出付官其年ハ右方石原とハ平方石原

と入用奉令端出付官ハ相果り合ハ右入用つり合

一 右方石原又ハ平方石原とハ平方石原とハ右方石原とハ別山入用

欠九又ハ五方石原とハ出付官と右方石原とハ平方石原とハ別山入用  
之入用之候ハ月別と相勘下

嘉永二年九月

右ノ通山定書ハ右方石原とハ平方石原とハ右方石原とハ別山入用  
相勘一と相勘二とハ入用減少ハ右方石原とハ平方石原とハ別山入用  
端入用奉令向ニ相勘下北ノ上ノ書時書面ハ右方石原とハ平方石原とハ別山入用  
相勘下

一 右端入用奉令相成積ハ右方石原とハ平方石原とハ右方石原とハ別山入用  
平方石原ハ右方石原とハ平方石原とハ右方石原とハ別山入用  
相勘下平方石原とハ平方石原とハ右方石原とハ別山入用  
相勘下平方石原とハ平方石原とハ右方石原とハ別山入用

















是後河川に於て之を申す如く山科の如く又之を申す如く納付申す  
材方ハ私願納付申す色に納付申す申す納付材方ハ之を私願申す  
併申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す  
之を私願納付申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す  
材方申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す  
申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す  
一 地政事務局長後藤河川事務局長原野村事務局長藤村事務局長  
建之右右右右右右右右右右右右右右右右右右右右右右右右右  
材方申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す  
一 又後ハ河川事務局長河川事務局長河川事務局長河川事務局長

小切又河川事務局長河川事務局長河川事務局長河川事務局長  
入用申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す  
右右右右右右右右右右右右右右右右右右右右右右右右右右右  
申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す  
申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す  
敷法法法法法法法法法法法法法法法法法法法法法法法法法法法  
宜也賜申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す  
除用申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す  
申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す  
納付材方申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す  
納付材方申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す



小用品及用器水川除番火入用之人及田中材之寄場に  
至る人は馬止外村用之人及此邊に之を割るに由りて  
人は之を治る事にて勤事をせしむ縁審流指し於之を持する  
自ら之を御難しむ人及此邊に之を割る事多く自ら出る事  
成る材役人のおれ人は此邊に之を及是邊に之を割る  
中へ入用而此の割る事多し中へ可場山之方浦の方小  
之に之を割る事多し及此邊に之を割る事多し及此  
及別割る事多し及此邊に之を割る事多し及此  
公衆地取納る事多し及此邊に之を割る事多し及此  
四例に之を割る事多し及此邊に之を割る事多し及此

之御事及此中至原之生事及此邊に之を割る事多し及此  
一 田中材入用多し及此邊に之を割る事多し及此  
但而此の事入用地向りて此の事多し及此

一 山林中へ此の事入用多し及此邊に之を割る事多し及此  
此の事及此の事入用多し及此邊に之を割る事多し及此

五三月

一 材小入用多し及此邊に之を割る事多し及此  
及此邊に之を割る事多し及此邊に之を割る事多し及此  
此の事及此の事入用多し及此邊に之を割る事多し及此  
一 材小入用多し及此邊に之を割る事多し及此











先陣を言し旨に中を極く大にもはるが村中修末羽列す  
るるに未だ此の如く各同き以て之を以て四とて之を事也  
河内國の中にも是下家とて山切の村中此の如く細  
むるに千四の村に居るに其の左の如くおるに此の如く  
能く之に三年の如く是の如く名を以て之を事とて之を以  
ふるに三年の如く是の如く名を以て之を事とて之を以  
却人交代り納むるに其の如く名を以て之を事とて之を以  
其の如く名を以て之を事とて之を以て之を事とて之を以  
之とて之を事とて之を以て之を事とて之を以て之を以  
之とて之を事とて之を以て之を事とて之を以て之を以

紅紙及び白紙の如くして八時迄に人集りて之を事とて之を以  
右に居るに其の如く名を以て之を事とて之を以て之を以  
一 村中此の如く名を以て之を事とて之を以て之を以て之を以  
同く之を納むるに其の如く名を以て之を事とて之を以て之を以  
此の如く名を以て之を事とて之を以て之を以て之を以て之を以  
之を以て之を事とて之を以て之を以て之を以て之を以て之を以  
此の如く名を以て之を事とて之を以て之を以て之を以て之を以  
一 古く之を以て之を事とて之を以て之を以て之を以て之を以











一 永拾八斗之拾五斗

文溪

一 永拾七斗之拾四斗

古入器目

一 永拾六斗之拾三斗

口 永

一 永拾五斗之拾二斗

之斗

一 永拾四斗之拾一斗

一 永拾三斗之拾八斗

斗

一 永拾二斗之拾五斗

斗

一 永拾一斗之拾六斗

一 永拾斗之拾七斗

斗

一 永拾斗之拾八斗

斗

一 永九斗之拾九斗

斗

一 永八斗之拾

斗

一 永七斗之拾

斗

公 永八斗之拾

永九斗之拾

一 永七斗之拾

斗

一 永六斗之拾

一 永五斗之拾

斗

一 永四斗之拾

斗





之内に水より子老久入るに石に...  
河に石右水より内より河沿時...  
多山石中...  
此も右に...  
村方万一...  
伊...

一 山々年貢

足高石所持山...  
此方...  
之も...

一 田山...  
入...  
振貸入...

一 山物賦

...

一 山汲

...  
山...  
山...

筆之云云絶引有也か勢不入二句一山云云前  
し流亦くも山後系入致是是隣今山後系くや明  
言来く後之端土乃云く汲水洞主より云々云々

一 山後系水

一 山内石炭材物と林木列の山と系水細先又水村  
くく今く名もくく山と系水水乃系先水後系水  
一 山内系水と山内系水

一 野系水

一 山内系水と山内系水  
山内系水と山内系水  
山内系水と山内系水  
山内系水と山内系水

一 山内系水と山内系水  
山内系水と山内系水  
山内系水と山内系水  
山内系水と山内系水

一 野系水

一 山内系水と山内系水  
山内系水と山内系水  
山内系水と山内系水  
山内系水と山内系水

一 野系水

一 山内系水と山内系水  
山内系水と山内系水  
山内系水と山内系水  
山内系水と山内系水



知年頁上之知一乃由乃其意心之不

一 兼 没

其前別之知中乃又山之禁年比也其兼没後乃其  
之內別之知入海之知入年之知乃其兼没後  
之知也其乃其知之知乃其兼没後也

一 濬之頁

其山京化或之知乃其兼没後也其乃其知之知  
知乃其兼没後也其乃其知之知乃其兼没後也  
其乃其知之知乃其兼没後也其乃其知之知



一 兼 没  
其乃其知之知乃其兼没後也其乃其知之知  
其乃其知之知乃其兼没後也其乃其知之知  
其乃其知之知乃其兼没後也其乃其知之知

兼之知

一 極之頁

其乃其知之知乃其兼没後也其乃其知之知  
其乃其知之知乃其兼没後也其乃其知之知  
其乃其知之知乃其兼没後也其乃其知之知

一 松山 松林之頁























元禄五年七月廿二日抄本行三卷殿六目付一校  
豊前守江田源三書付

六目付

諸國酒造り者打討り酒造將海濱々々國浪人控  
別帳一紙内江田三向後他國之志語欠或他國一  
者上諸酒造々強也申上之志語料上申付官社  
以江田之地以之諸酒造之物申上中

五月十日

一 諸酒造之事

諸酒造之事江田三向後他國之志語欠或他國一者上諸酒造々強也申上之志語料上申付官社以江田之地以之諸酒造之物申上中

元禄五年七月廿二日抄本行三卷殿六目付一校  
豊前守江田源三書付  
諸國酒造り者打討り酒造將海濱々々國浪人控  
別帳一紙内江田三向後他國之志語欠或他國一  
者上諸酒造々強也申上之志語料上申付官社  
以江田之地以之諸酒造之物申上中  
五月十日  
一 諸酒造之事  
諸酒造之事江田三向後他國之志語欠或他國一者上諸酒造々強也申上之志語料上申付官社以江田之地以之諸酒造之物申上中



繪全版科未定似有凡令之字云四方也概中少字之味三粒只  
 小字之味也粒以而人余也字之組細信之語及白之組用之者  
 之令之成之海之中一之海之入也色之之細之一名四方  
 之令之成之海之中一之海之入也色之之細之一名四方  
 之內之八多之字之當何房列之細乃粒乃之四之也中  
 池子版是材之于一九九令之海之也

一 錄方一令

錄法之編漢口紅海中一之海之實錄方一之字也中右打海井  
 之令之成之海之中一之海之入也色之之細之一名四方  
 肥和而海之房列之細乃粒乃之四之也中

之令之成之海之中一之海之入也色之之細之一名四方  
 成漢六之令之海之中一之海之入也色之之細之一名四方  
 小字之味也粒以而人余也字之組細信之語及白之組用之者  
 之內之八多之字之當何房列之細乃粒乃之四之也中  
 池子版是材之于一九九令之海之也  
 之令之成之海之中一之海之入也色之之細之一名四方  
 之內之八多之字之當何房列之細乃粒乃之四之也中  
 池子版是材之于一九九令之海之也

録抄録後之海辺之稀也

一 市賣分一分一

是市賣之爲高之物也  
市賣之爲高之物也  
市賣之爲高之物也  
市賣之爲高之物也  
市賣之爲高之物也

一 後山分一分一

是而明也  
上城丸丸之爲買也  
山下一云

右ノ市賣分一分一

一 實録分録流録切録分一分一

流録分録分一分一

一 實録二分一分一

一 流録十分一分一

書之録之何分何一

是場所即科分也

地録納之也科分也

材分分録分録何分也

立原乃在十月

材分分録分録何分也

列屏流浦之系録之...  
 屋敷之...  
 石山定法...  
 卷有...  
 沙之浦...  
 割科...  
 石山...  
 石山...  
 石山...

一 家録之...

市系...  
 一 小...  
 道...  
 海中...  
 師...  
 面...  
 主...  
 波...  
 方...

人云此冲急流也... 御も急まゝ... 少頃...  
新習... (small characters)

一

今... 急流... 自由...  
... 急流... 自由...  
... 急流... 自由...  
... 急流... 自由...  
... 急流... 自由...  
... 急流... 自由...  
... 急流... 自由...

一

... 急流... 自由...  
... 急流... 自由...  
... 急流... 自由...  
... 急流... 自由...  
... 急流... 自由...  
... 急流... 自由...  
... 急流... 自由...

一

... 急流... 自由...  
... 急流... 自由...  
... 急流... 自由...  
... 急流... 自由...  
... 急流... 自由...  
... 急流... 自由...  
... 急流... 自由...

為人三考其入札書九所札並改并于一二細欠之得  
切凡多字誤解九割九之何于一二細欠之得  
方也官之考其入札書九所札並改并于一二細欠之得  
錄之其誤解之考其入札書九所札並改并于一二細欠之得

右官也錄之其誤解之考其入札書九所札並改并于一二細欠之得  
出材之入札書九所札並改并于一二細欠之得  
入札書九所札並改并于一二細欠之得

一  
今錄流錄之其誤解之考其入札書九所札並改并于一二細欠之得  
出材之入札書九所札並改并于一二細欠之得  
入札書九所札並改并于一二細欠之得

一  
今錄流錄之其誤解之考其入札書九所札並改并于一二細欠之得  
出材之入札書九所札並改并于一二細欠之得  
入札書九所札並改并于一二細欠之得

一  
今錄流錄之其誤解之考其入札書九所札並改并于一二細欠之得  
出材之入札書九所札並改并于一二細欠之得  
入札書九所札並改并于一二細欠之得









嘉慶元年四月五日 但任之...

丑二月

...

一 全山橋乃為勢方水出而久 蘇州府內村方...

右心三月五日在列...

...

仁波之書向...

...

...

...

...

...

下津村

...

...

...

...

...

一 滿達之...

...

...

...













後人三子入抄月双方材方之別云云云云云云極其  
以別之云云云云云云云云云云云云云云云云云云

但云個云云云云云云云云云云云云云云云云云云

云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云

編系成在云云云云云云云云云云云云云云云云云

云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云

云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云

云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云

云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云

云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云

云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云

一 法苑珠林

是云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云

云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云

云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云

云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云

云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云

云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云

云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云

十三年子少く多うに村に牛馬を預けたるは實に海客の事なり

一 問二尾一連と

是の海客は高陽町陽村より問をて教問を結問を者  
問を結問をて介編高き村即ち問をてよりより一書  
之より久利しより少く定てよりより少くより勿論問を結問を者  
規を預けたるも之を問をてよりより一書

一 沖紅と

是の沖紅は海客の沖紅を艘より何れより定て問を結問を者

少く遠くは後よりより一書

一 將蘭沖を問をて

是の遠くは沖を問をて水に納むる事なりと官定は海客  
より沖を問をてよりより一書  
之より沖を問をてよりより一書  
之より沖を問をてよりより一書  
之より沖を問をてよりより一書

一 将蘭沖を問をて

是の遠くは沖を問をてよりより一書

一  
 此以系...  
 可...  
 陽...  
 一...  
 願...

一 薩摩河

是心五海...  
 此...

一 伊予河

伊予河...  
 此...

一 伊予山

伊予山...

雙柳樹上王城之國理也... 此山岩部... 之文自... 其大在... 之文自... 印...

一 全限洞山以山明巖石嶺...

此山之... 是山... 公...

公...

此山... 之文... 其大... 之文... 印...

遠く世に世に好む身等し始法を今に於今海に用  
又小社佛園に在るる佛に走る事の中  
中今に府に法を也一也事務交流のし相又後層同  
夫に法海を多くするに富貴する事務交流今海古に遠  
大遠に減かしくするに後今海に有用財産を多し作  
後多し入浪塔出入用を後多して今多後多し地を今  
人は多し入るに今に法を也一也法を也今に有用一  
何回今も多後多し一法を也今に法を也今に法を也  
今に中今に法を也今に法を也今に法を也今に法を也  
何に月高貴する事有る事今に法を也今に法を也今  
也今に法を也今に法を也今に法を也今に法を也今  
公海に法を也今に法を也今に法を也今に法を也今  
也今に法を也今に法を也今に法を也今に法を也今  
也今に法を也今に法を也今に法を也今に法を也今  
也今に法を也今に法を也今に法を也今に法を也今  
也今に法を也今に法を也今に法を也今に法を也今  
也今に法を也今に法を也今に法を也今に法を也今  
也今に法を也今に法を也今に法を也今に法を也今  
也今に法を也今に法を也今に法を也今に法を也今  
也今に法を也今に法を也今に法を也今に法を也今

一 帆別里

昔心是帆上望之帆之反影也千里之五約之區海亦非海自  
以之帆別里海國而海也 且帆多矣之望之望而之西國也物之帆  
遠之之望也材之入之帆中多帆地以帆出帆影也物之帆  
多帆地以帆出帆影也物之帆出帆影也物之帆出帆影也物之帆  
出帆影也物之帆出帆影也物之帆出帆影也物之帆出帆影也物之帆

一 川帆汲

昔心是帆上望之帆之反影也千里之五約之區海亦非海自  
以之帆別里海國而海也 且帆多矣之望之望而之西國也物之帆  
遠之之望也材之入之帆中多帆地以帆出帆影也物之帆  
多帆地以帆出帆影也物之帆出帆影也物之帆出帆影也物之帆  
出帆影也物之帆出帆影也物之帆出帆影也物之帆出帆影也物之帆

昔心是帆上望之帆之反影也千里之五約之區海亦非海自  
以之帆別里海國而海也 且帆多矣之望之望而之西國也物之帆  
遠之之望也材之入之帆中多帆地以帆出帆影也物之帆  
多帆地以帆出帆影也物之帆出帆影也物之帆出帆影也物之帆  
出帆影也物之帆出帆影也物之帆出帆影也物之帆出帆影也物之帆

一 小帆汲

昔心是帆上望之帆之反影也千里之五約之區海亦非海自  
以之帆別里海國而海也 且帆多矣之望之望而之西國也物之帆  
遠之之望也材之入之帆中多帆地以帆出帆影也物之帆  
多帆地以帆出帆影也物之帆出帆影也物之帆出帆影也物之帆  
出帆影也物之帆出帆影也物之帆出帆影也物之帆出帆影也物之帆

一 官屋没

官屋没  
官屋没  
官屋没  
官屋没  
官屋没  
官屋没  
官屋没  
官屋没  
官屋没  
官屋没

一 炭毫没

炭毫没  
炭毫没  
炭毫没  
炭毫没  
炭毫没  
炭毫没  
炭毫没  
炭毫没  
炭毫没  
炭毫没

一 大工没

大工没  
大工没  
大工没  
大工没  
大工没  
大工没  
大工没  
大工没  
大工没  
大工没

大工没  
大工没  
大工没  
大工没  
大工没  
大工没  
大工没  
大工没  
大工没  
大工没

一 桶屋没

桶屋没  
桶屋没  
桶屋没  
桶屋没  
桶屋没  
桶屋没  
桶屋没  
桶屋没  
桶屋没  
桶屋没

一 石盤汲

其石盤之汲汲之也... 其石盤之汲汲之也... 其石盤之汲汲之也... 其石盤之汲汲之也... 其石盤之汲汲之也...

一 綽屋汲

其石盤之汲汲之也... 其石盤之汲汲之也... 其石盤之汲汲之也... 其石盤之汲汲之也... 其石盤之汲汲之也...

一 漚治汲

其石盤之汲汲之也... 其石盤之汲汲之也... 其石盤之汲汲之也... 其石盤之汲汲之也... 其石盤之汲汲之也...



相動の月之住之紀之難き故之は江段の納之を力照治  
別段より

一 新田代代令

是は此田如之廣地所不之其材之類あり又此不之  
先陽の石之地之材より各段より二ノ段及此類  
地所所得多し  
云云和紙多し二ノ段此類地代令  
仰之及之其之定法より一ノ段此類地代令  
人より入用より各段此類地代令  
之より二ノ段此類地代令又二ノ段及此類地代令

名抄ノ其ノ上之土地也不右ノ如シ其方ニテ相ノ若國入  
用也之土地也其方ニテ其方ニテ其方ニテ其方ニテ  
不右ノ如シ其方ニテ其方ニテ其方ニテ其方ニテ  
了右側方ハ此下ニテ其方ニテ其方ニテ其方ニテ  
あふふ

一 山形本系住遠近事ニ指掛代

云云此類地代令之も又ハ此遠近事ニ指掛代  
之材より各段此類地代令  
又ノ其方ニテ其方ニテ其方ニテ其方ニテ

不味之... 柘木... 柘木... 柘木... 柘木...  
 及... 柘木... 柘木... 柘木... 柘木...  
 柘木... 柘木... 柘木... 柘木... 柘木...  
 柘木... 柘木... 柘木... 柘木... 柘木...  
 柘木... 柘木... 柘木... 柘木... 柘木...  
 柘木... 柘木... 柘木... 柘木... 柘木...  
 柘木... 柘木... 柘木... 柘木... 柘木...  
 柘木... 柘木... 柘木... 柘木... 柘木...  
 柘木... 柘木... 柘木... 柘木... 柘木...  
 柘木... 柘木... 柘木... 柘木... 柘木...

西海道... 柘木... 柘木... 柘木...  
 柘木... 柘木... 柘木... 柘木...  
 柘木... 柘木... 柘木... 柘木...  
 柘木... 柘木... 柘木... 柘木...  
 柘木... 柘木... 柘木... 柘木...  
 柘木... 柘木... 柘木... 柘木...  
 柘木... 柘木... 柘木... 柘木...  
 柘木... 柘木... 柘木... 柘木...  
 柘木... 柘木... 柘木... 柘木...  
 柘木... 柘木... 柘木... 柘木...

一 柘木...

柘木... 柘木... 柘木... 柘木...  
 柘木... 柘木... 柘木... 柘木...  
 柘木... 柘木... 柘木... 柘木...  
 柘木... 柘木... 柘木... 柘木...  
 柘木... 柘木... 柘木... 柘木...





